

横浜市新市庁舎内に設置するふれあいショップ運営主体 選定経過報告書

1 横浜市ふれあいショップ運営主体選定委員会

	氏名	分野	所属
委員長	眞保 智子	学識経験者	法政大学 現代福祉学部教授
委員	野本 史男	労働行政関係者	神奈川県障害者雇用促進センター 雇用促進課長
委員	森 和雄	福祉団体関係者	横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター担当理事
委員	新田 東一	地域団体関係者	関内地区町内会連合会 会長
委員	森島 佐登志	中小企業診断士	トゥー・ザ・ネクステージ 代表

2 選定の経過

(1) 第1回選定委員会

- ア 開催日：令和元年5月17日（金）
- イ 場所：松村ビル別館会議室
- ウ 欠席者：なし
- エ 主な議題
 - (ア) 公募要領の内容について
 - (イ) 運営主体の選定方法について

(2) 第2回選定委員会

- ア 開催日：令和元年8月19日（月）
- イ 場所：松村ビル別館会議室
- ウ 欠席者：森委員
- エ 主な議題
 - (ア) 選定基準の確認（財務評価について）
 - (イ) 応募事業者からのプレゼンテーション及びヒアリング
 - (ウ) 採点及び集計
 - (エ) 運営主体候補の選定
- オ 選定経過
 - (ア) 各委員による採点
提出書類及びプレゼンテーション、ヒアリングにより採点（委員一人につき100点満点）
 - (イ) 採点結果集計表
（委員4名×100点＝400点満点）

審査項目	配点/合計	運営 主体 候補	団体 1	団体 2	団体 3	団体 4	団体 5
1 法人に関する事項	10/40 点	36 点	40 点	28 点	36 点	36 点	16 点
2 企画書に関する事項	85/340 点	293 点	236 点	247 点	212 点	154 点	122 点
3 法人取組に関する事項	5/20 点	12 点	0 点	0 点	4 点	4 点	0 点
小計/合計	100/400 点	341 点	276 点	275 点	252 点	194 点	138 点

※ 審査項目の合計点数（400 点）が最低制限基準（6 割（240 点））に満たない場合は、選定対象外。

3 選定結果

公益財団法人 横浜市知的障害者育成会

4 総評

運営主体候補	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体の財務状況は安定している。 ・ふれあいショップをすでに2か所運営しているが、黒字経営となっている。 ・市内農家から協力を受けて地産地消メニューにこだわるなど、ふれあいショップの本来部門で横浜らしさを意識しており、かつ計画が具体的である。 ・障害者の働きやすさが具体的に考えられている。
団体1	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の活動実績は十分にある。 ・これまで培ってきたネットワークを十分に活用し、幅広い分野からの外部協力体制を計画している。また、法人内に事業部を新設するなど、本事業に対する意欲が十分に感じられる提案となっている。 ・店長予定者が決まっておらず、実際に現場を管理する人材の理解や熱意の確認ができなかった。 ・商品力の高いパンや弁当を主力商品として掲げているが、売上の見込みが非常に高く、企画している商品でそこまでの売上が見込めるのか、不安が残る。

団体 2	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェ運営を通じ、地域とのネットワークについて実績が十分にある。 ・法人としての活動実績も十分にある。 ・新市庁舎整備計画との調和、本事業の趣旨を十分に理解している。 ・経営状況について、好転しているものの、わずかに債務超過が生じている。
団体 3	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の活動実績は十分にある。 ・これまでの活動実績を生かし、本事業を通じた当事者目線でのバリアフリー、ノーマライゼーションの推進をしていきたいという意欲が強く感じられた。 ・就労啓発事業に多くの事項を掲げているが、具体的な進め方の提案が不足している。 ・刊行物販売について業務仕様のための提案となっており、障害者雇用の場として具体的にどのように運営するのか等、わからなかった。
団体 4	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者雇用や実施事業など、法人としての実績は十分にある。 ・フランチャイズ店としての出店が全面に出されており、新しい横浜の顔となる新市庁舎内に設置されるショップとして「横浜らしさ」をどう打ち出していくのかがわからなかった。 ・超短時間雇用を掲げ、聴覚以外の障害種別も雇用を見据えているということであったが、その他の障害に対する合理的配慮についての考え方が伝わってこなかった。
団体 5	<ul style="list-style-type: none"> ・困難を抱える若者支援や雇用実績があり、社会的活動への法人姿勢が感じられる。 ・経営状況について、大規模店舗の閉店等の影響を受け、債務超過が拡大している。 ・障害者雇用の経験が乏しく、合理的配慮が今一步踏み込んだものになっていない。 ・就労啓発事業、新市庁舎整備計画との調和など、具体的な提案が不足している。

5 運営主体候補に対する意見・要望

- ・横浜の新しい顔となる新市庁舎に設置するショップとして、発達障害や精神障害など、さまざまな障害種別の雇用も検討してもらいたい。
- ・横浜市や中間支援組織としっかり連携して、地域に根付いたショップになってほしい。
- ・障害者雇用について最低賃金の除外は行わず、最低賃金を必ず保証している法人の姿勢は素晴らしいと思うが、業務への貢献度や習熟度の評価など、その人ひとり一人の特性を考慮した賃金体系も検討してほしい。